

2010年 9 月26日 実施

平成22年度（第43回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 6 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1. 大容量のバッテリーを内蔵し、停電などの電力トラブルが発生した際、コンピュータに電力を一定時間供給する装置。
- 2. コンピュータやプリンタをLANに接続するために必要な機器。MACアドレスという固有の番号がつけられている。
- 3. 印刷命令を送ってからプリンタが動き始めるまでの時間のよう、コンピュータシステムに処理を指示してから、その処理が開始されるまでに要する時間。
- 4. 音声データをパケットに変換することで、インターネット回線などを音声通話に利用する技術。
- 5. コンピュータの性能を表す単位の1つで、1秒間あたり何百万回の命令が実行可能であることを表したものの。

解答群		
ア. ディスクキャッシュ	イ. VoIP	ウ. MIPS
エ. NIC	オ. RASIS	カ. VRAM
キ. レスポンスタイム	ク. スループット	ケ. ターンアラウンドタイム
コ. デバイスドライバ	サ. UPS	シ. RAID

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群>
1. SMTP

2. XML

3. SSL

4. FTP

5. CGI

- <B群>
- ア. 個人情報などのデータを暗号化し、ブラウザを介してインターネット上で安全に送受信するために広く普及しているプロトコル。

イ. メールサーバのメールボックスから電子メールを取り出すためのプロトコル。

ウ. ブラウザを通じてアクセスしたWebサイトから、データが一時的にユーザのコンピュータに保存されるしくみ。サイトの訪問回数などのユーザ情報が記録されている。

エ. コンピュータをネットワークに接続する際に、IPアドレスなどを自動的に割り当てるプロトコル。

オ. ネットワークを介してファイルを転送するためのプロトコル。HTMLファイルをWebサーバへアップロードする際に使われる。

カ. ネットワークに接続されたコンピュータのIPアドレスとドメイン名を対応させるしくみ。

キ. 電子メールにおいて、音声や画像などのデータの送受信を可能にするためのしくみを規定したもの。

ク. Webサーバ上で実行されたプログラムの結果をブラウザに表示するしくみ。アクセスカウンタが代表的である。

ケ. ユーザが独自のタグを自由に記述することができるマークアップ言語。

コ. 電子メールをユーザのコンピュータからメールサーバへ送信する際や、メールサーバ間でメールを転送する際に用いるプロトコル。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. プログラムの内部構造には関係なく、入力データが仕様書の通りに出力されるかを確認するテスト。

ア. ブラックボックステスト

イ. ホワイトボックステスト

ウ. クリティカルパス
2. 問題点を明確にするために、次のような手順で進められるデータ整理の方法。

情報収集 → カード化 → グループ化 → 図解化 → 文章化

ア. ヒストグラム

イ. ブレーンストーミング

ウ. KJ法
3. データを降順に並べた棒グラフと、その累計比率を表す折れ線グラフからなるグラフ。ABC分析に用いることが多い。

ア. パート図

イ. パレート図

ウ. Zグラフ
4. データベースにおいて、あるデータを処理しているとき、他からの更新や書き込みなどを制限することによって、データの整合性を保持しようとするしくみ。

ア. 排他制御

イ. 整合性制約

ウ. デッドロック
5. 装置Aと装置Bが、次の図のように配置されているシステムにおいて、システム全体の稼働率を求めなさい。ただし、装置Aと装置Bの稼働率はいずれも0.9とする。

ア. 0.81

イ. 0.9

ウ. 0.99

【4】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 元金¥3,000,000を借り入れ、年利率2.7%で毎月末に¥35,000ずつ返済をする場合の回数を求めたい。次の式の空欄にあてはまる関数として適切なものを選び記号で答えなさい。

=ROUNDUP(() (2.7%/12, -35000, 3000000, 0, 0), 0)

- ア. FV
- イ. NPER
- ウ. PMT

問 2. 次の表は、ある農家のマンゴー出荷表である。この農家ではマンゴーを 5 個ずつ箱に詰めて出荷している。B 4 の「出荷数」は、A 4 の「収穫数」を超えない最も大きい 5 の倍数を求める。B 4 に設定されている式の空欄にあてはまる関数として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1	マンゴー出荷表			
2	収穫数	出荷数	出荷箱数	余り
3	953	950	190	3
4				

= () (A4, 5)

- ア. FLOOR
- イ. MOD
- ウ. SUBSTITUTE

問 3. ある市では、特産物である豚肉をテーマにした創作料理コンテストにおいて、次の表のような項目で審査している。G 4 には、入賞を判定するために次の式が設定されており、条件を満たしている場合は ○ を表示する。この式を G 8 までコピーしたとき、G 列に表示される ○ の数を答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G
1	豚肉料理審査一覧表						
2	料理名	おいしさ	作りやすさ	普及性	アイデア	合計	入賞
3	チャートン	4	4	4	4	16	※
4	とんでもない丼	3	5	3	4	15	※
5	トンでもロール	4	2	4	5	15	※
6	トントンたまたま	5	4	3	4	16	※
7	ビビンビッグ	5	5	4	2	16	※
8							

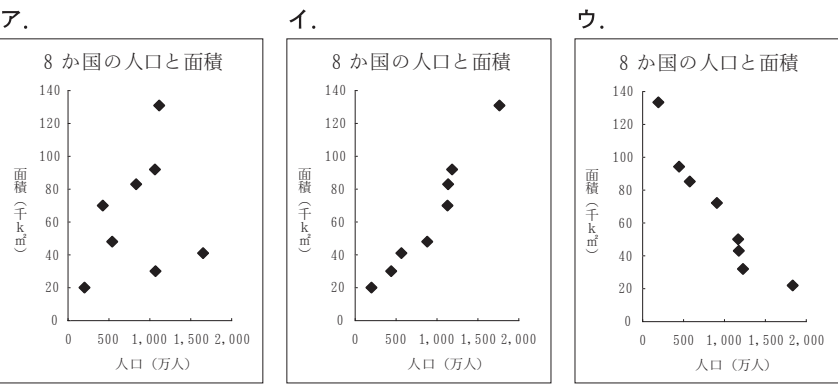
=IF(AND(MAX(\$F\$4:\$F\$8)=F4, OR(COUNTIF(B4:E4, 5)>=2, COUNTIF(B4:E4, 4)>=3)), "○", "")

問 4. 次の表は、ある親子工作教室の基本料金表および参加料金早見表である。C 11 には、参加料金を計算する式が設定されている。C 11 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式を E 18 までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E
1	基本料金表				
2					
3	基本料金				
4			一般	割引券あり	会員
5	大人		1,800	1,500	1,200
6	子供		900	750	600
7					
8	参加料金早見表				
9	参加人数		参加料金		
10	大人	子供	一般	割引券あり	会員
11	1	1	2,700	2,250	1,800
12	1	2	3,600	3,000	2,400
13	1	3	4,500	3,750	3,000
14	1	4	5,400	4,500	3,600
15	2	1	4,500	3,750	3,000
16	2	2	5,400	4,500	3,600
17	2	3	6,300	5,250	4,200
18	2	4	7,200	6,000	4,800

- ア. =\$A\$11*C\$5+\$B\$11*C\$6
- イ. =A\$11*\$C5+B\$11*\$C6
- ウ. =\$A11*C\$5+\$B11*C\$6

問 5. 次の表は、単一通貨ユーロを導入している EU 加盟国のうち 8 か国のおおよその人口と面積である。このデータから作成されるグラフ（散布図）として適切なものを選び、記号で答えなさい。



	A	B	C
1	8 か国の人口と面積		
2			
3	国名	人口 (万人)	面積 (千 k m²)
4	アイルランド	424	70
5	オーストリア	831	83
6	オランダ	1,647	41
7	ギリシャ	1,112	131
8	スロバキア	539	48
9	スロベニア	201	20
10	ベルギー	1,067	30
11	ポルトガル	1,060	92

【5】 次の表は、ある写真プリントサービス店において店員が使用する料金計算表である。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問5については数値を答えなさい。

シート名「料金計算表」

	A	B	C	D	E	F
1						
2		プリントサービス料金計算表				
3						2010年9月24日
4	1.	会員情報				
5			入力欄		確認欄	
6		会員番号	1003	氏名	川田 ○○	様
7				備考	誕生月です	
8						
9	2.	サービス入力				
10		サービスコード	2		裱同時プリント	
11		サイズ	L		Lサイズ	
12		プリント枚数	67			
13						
14	3.	料金計算				
15		現像料			500	
16		プリント代			2,345	
17		会員割引率	8%			
18		会員割引額			188	
19				小計	2,657	
20		誕生月割引額(10%)			266	
21				請求金額	2,391	
22						
23		ポケットアルバム無料サービス			2	冊

(注) 本日は、2010年9月24日とする。

シート名「料金表」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		料金表						
3				サイズ／単価				
4		サービスコード	サービス名	現像料	L	ハガキ	パノラマ	2 L
5		1	デジタルプリント	0	30	30	60	80
6		2	裱同時プリント	500	35	35	80	100
7		3	裱焼き増し	0	40	40	100	150
8		4	写真のコピー	0	150	200	500	750

処理条件

- シート名「料金計算表」のC6、C10～C12に適切なデータを順に入力すると、請求金額を求めることができる。
- シート名「料金計算表」は、次のように作成されている。
 - F3には、本日の日付を表示するための関数が設定されている。
 - C6の「会員番号」は、会員の場合は会員番号を入力し、非会員の場合は0を入力する。
 - E6の「氏名」は、C6の「会員番号」をもとに、シート名「会員表」を参照して表示する。ただし、入力した会員番号がシート名「会員表」にない場合は入力エラーを表示し、未入力の場合は何も表示しない。
 - E7の「備考」は、今月が会員の誕生月である場合は誕生月ですを表示し、そうでない場合は割引なしを表示する。ただし、C6の「会員番号」が0または未入力の場合、E6の「氏名」が入力エラーの場合は何も表示しない。
 - C10～C11は、シート名「料金表」のサービスコード、サイズを入力する。C12はプリント枚数を入力する。
 - E10は、C10の「サービスコード」が1～4の場合は、C10の「サービスコード」をもとに、シート名「料金表」を参照してサービス名を表示し、それ以外の場合は入力エラーを表示する。なお、C10が未入力の場合は何も表示しない。
 - E11は、C11に入力した「サイズ」がシート名「料金表」にある場合は、C11の「サイズ」にサイズの文字列を結合して表示し、ない場合は入力エラーを表示する。なお、C11が未入力の場合は何も表示しない。
 - E15の「現像料」は、C10の「サービスコード」をもとに、シート名「料金表」を参照して表示する。
 - E16の「プリント代」は、C10の「サービスコード」とC11の「サイズ」をもとに、シート名「料金表」を参照して求めた単価に、C12の「プリント枚数」を掛けて求める。なお、C10またはC11が未入力の場合、E10またはE11が入力エラーの場合は何も表示しない。
 - C17の「会員割引率」は、C6の「会員番号」をもとに、シート名「会員表」を参照して求めた区分コードをもとに、シート名「プリント割引率表」を参照して表示する。
 - E18の「会員割引額」は、E16の「プリント代」に、C17の「会員割引率」を掛けて求める。ただし、小数点以下を切り上げ、整数部のみ表示する。
 - E19の「小計」は、E15の「現像料」とE16の「プリント代」の合計から、E18の「会員割引額」を引いて求める。
 - E20の「誕生月割引額(10%)」は、E7の「備考」が誕生月ですの場合は、E19の「小計」の10%の金額を求め、割引なしの場合は0を表示する。ただし、小数点以下を切り上げ、整数部のみ表示する。
 - E21の「請求金額」は、E19の「小計」からE20の「誕生月割引額(10%)」を引いて求める。
 - E23の「ポケットアルバム無料サービス」は、C11の「サイズ」がLの場合、C12の「プリント枚数」がすべて収納できるポケットアルバムの必要冊数を表示する。ただし、1冊のアルバムには40枚収納できる。
なお、C11の「サイズ」がL以外の場合は0を表示し、未入力の場合は何も表示しない。

シート名「会員表」

	A	B	C	D
1				
2	会員表			
3	会員番号	区分コード	氏名	生年月日
4	0	N	非会員	
5	1001	P	小林 ○○	1972年8月21日
6	1002	G	加藤 ○○	1967年7月7日
7	1003	G	川田 ○○	1974年9月2日
8	1234	S	伊藤 ○○	1990年11月12日
9	1235	B	岡本 ○○	1965年9月9日
10	1236	G	佐藤 ○○	1966年3月2日
11	1237	P	近藤 ○○	1977年9月5日
12	1238	B	荻原 ○○	1989年5月1日
13	1239	B	和田 ○○	1988年4月12日
14	4999	B	中山 ○○	1982年11月30日
15	5000	P	金子 ○○	1985年12月27日

問 1. シート名「料金計算表」の E 6 に設定する次の式の空欄にあてはまる適切な関数を答えなさい。

=IF(C6="", "",
IF(() (VLOOKUP(C6, 会員表!A4:D4004, 3, FALSE)), "入力エラー",
VLOOKUP(C6, 会員表!A4:D4004, 3, FALSE)))

- ア. ISERROR イ. IF ウ. NOT

問 2. シート名「料金計算表」の E 7 に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

=IF(OR(C6=0, C6="", E6="入力エラー"), "",
IF((a) (F3)= (b) (VLOOKUP(C6, 会員表!A4:D4004, 4, FALSE)), "誕生月です", "割引なし"))

- ア. (a) MONTH (b) NOW
イ. (a) TODAY (b) MONTH
ウ. (a) MONTH (b) MONTH

問 3. シート名「料金計算表」の E 16 に設定する式を答えなさい。

- ア. =IF(OR(C10="", C11="", E10="入力エラー", E11="入力エラー"), "",
INDEX(料金表!D5:H8, MATCH(C11, 料金表!D4:H4, 0), MATCH(C10, 料金表!A5:A8, 0))*C12)
イ. =IF(OR(C10="", C11="", E10="入力エラー", E11="入力エラー"), "",
INDEX(料金表!D5:H8, MATCH(C11, 料金表!D4:H4, 0), C10)*C12)
ウ. =IF(OR(C10="", C11="", E10="入力エラー", E11="入力エラー"), "",
INDEX(料金表!D5:H8, C10, MATCH(C11, 料金表!D4:H4, 0))*C12)

問 4. シート名「料金計算表」の E 23 に次の式が設定されている。この式と同様の結果が得られる式を答えなさい。

- =IF(C11="", "", IF(C11="L", CEILING(C12, 40)/40, 0))
ア. =IF(C11="", "", IF(C11="L", ROUNDDOWN(C12/40, 0), 0))
イ. =IF(C11="", "", IF(C11="L", ROUNDUP(C12/40, 0), 0))
ウ. =IF(C11="", "", IF(C11="L", ROUNDUP(C12/40, 0)/40, 0))

問 5. シート名「料金計算表」に、次のようにデータを入力したときの請求金額を計算して答えなさい。

	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3						
4						2010年9月24日
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						

(注) 本日は、2010年9月24日とする。
※印は、値の表記を省略している。

【6】 ある高校では、生徒のボランティア日体験活動を次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。次の各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

ボランティア体験活動報告書

2010年 8月 25日

生徒コード : 09625 2年 6組 25番 氏名 : 梶原 〇〇

活動先コード	活動先名	活動日	分類コード
J1023	東浅川幼稚園	8月 20日	D
具体的な体験活動			
園庭でのゲーム遊びと紙芝居。			
感想			

- 作業の流れ
- ① 生徒は、活動が終わると具体的な内容を「ボランティア体験活動報告書」に記入して担任へ報告をする。
 - ② 担任が内容確認後、ボランティア体験担当教員がデータベースに入力する。

生徒表

生徒コード	氏名	性別
}	}	}
09625	梶原 〇〇	M
09626	佐藤 〇〇	M
09627	清水 〇〇	F
09628	白石 〇〇	F
}	}	}

活動先表

活動先コード	活動先名	連絡先	担当者名
}	}	}	}
J1021	市立保育所	042-663-XXXX	橋本 〇〇
J1022	わかば公園	042-642-XXXX	山崎 〇〇
J1023	東浅川幼稚園	042-622-XXXX	猪俣 〇〇
J1024	高橋苑	042-571-XXXX	高橋 〇〇
}	}	}	}

活動報告表

生徒コード	活動日	活動先コード	分類コード
}	}	}	}
09625	20100820	J1023	D
09618	20100824	J1024	B
09102	20100829	J1022	A
09205	20100829	J1010	C
09625	20100830	J1044	B
}	}	}	}

分類表

分類コード	内容
A	清掃
B	高齢者介護
C	保育
D	幼児教育
E	自然保護
F	スポーツ交流
}	}

(注) 生徒表の「性別」は、M は男性、F は女性を表す。
活動報告表の「活動日」は、8けたの数値を用いる。
例：20100820 は2010年8月20日を表す。

問1. リレーショナル型データベースを設計する際、E-R図を用いてデータの関連性をモデル化する。次の図は、このデータベースのリレーションシップを表したE-R図である。空欄(a)～(c)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。なお、一人の生徒が複数の活動を行うこともある。

- ア. (a) 生徒表

イ. (a) 活動先表

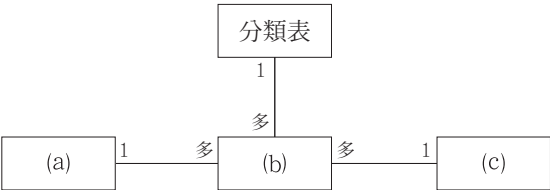
ウ. (a) 生徒表
- (b) 活動先表

(b) 生徒表

(b) 活動報告表
- (c) 活動報告表

(c) 活動報告表

(c) 活動先表



ア. (a) 担当者名 = '佐々木 ○○' (b) 活動先表
 イ. (a) 活動先表 (b) 担当者名 = '佐々木 ○○'
 ウ. (a) 活動報告表 (b) 担当者名 = '佐々木 ○○'

活動先コード	活動先名	生徒コード	氏名
J1021	市立保育所	09308	山本 ○○
J1022	わかば公園	09401	石川 ○○
J1108	南浅川小学校	09509	庄司 ○○
}	}	}	}

ア. (a) ORDER BY (b) ASC
イ. (a) GROUP BY (b) ASC
ウ. (a) ORDER BY (b) DESC

(1) 2010年8月中(2010年8月1日～8月31日)に高橋苑で高齢者介護の活動をした女子生徒の人数を求める場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし、重複行は取り除くこと。

ア. SUM イ. IN ウ. DISTINCT

ア. 活動日 > 20100801 AND 活動日 < 20100831
イ. 活動日 >= 20100801 AND 活動日 <= 20100831
ウ. 活動日 < 20100801 OR 活動日 > 20100831

(平成22年 9 月26日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成22年度（第43回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記 解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
					円

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	
				(1)	(2)

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成22年 9 月26日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成22年度（第43回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	サ	エ	キ	イ	ウ	

【2】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	コ	ケ	ア	オ	ク	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	ア	ウ	イ	ア	ウ	

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	イ	ア	2	ウ	ア	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ア	ウ	ウ	イ	1,017 円	

※「,」なしも可。

【6】	問1	問2	問3	問4		各4点 計20点
				(1)	(2)	
	ウ	イ	ア	ウ	イ	

試験場校名	受験番号

得点合計
100

2010年 9 月26日 実施

平成22年度（第43回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに試験場校名
および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、シート 4 を 1 ページで印刷して
ください。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

ある動物園では、昨年（2009年）10月の入園者数と営業費用、今年（2010年）同月の予想入園者増加率をもとに、今年同月の営業利益を20%増加させるための収支計画表を作成することにした。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料および処理条件をもとに入力し、※※印部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。

資料1 入園者表

入園者コード	入園者
C	子供
A	大人

資料3 入園表

入園コード	人数
0101CH	662
0101AH	414
0102CH	686
1230CW	745
1230AW	466
1231CW	537
1231AW	335

資料4 入園料金表

料金区分	子供	大人
休日	200	300
平日	100	200

資料5

昨年（2009年）10月の営業費用
 休日 2,600,000円
 平日 2,400,000円

資料2 料金区分表

料金コード	料金区分
H	休日
W	平日

資料6

今年（2010年）同月の予想入園者増加率

休日 2%

平日 3%

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
 設定する書式：罫線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
 - シート1は、次のように作成する。
 「入園者表」「料金区分表」の※印の部分は、資料1、資料2のデータを入力する。
 なお、入園者コード、料金コードは半角英字である。
 - シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - B列の「月」の※※印の部分は、A列の「入園コード」の左端から2文字を抽出する。
 - C列の「入園者」の※※印の部分は、A列の「入園コード」の左端から5けた目より1文字をもとに、シート1の「入園者表」の「入園者コード」を参照して表示する。
 - D列の「料金区分」の※※印の部分は、A列の「入園コード」の右端の1文字をもとに、シート1の「料金区分表」の「料金コード」を参照して表示する。
 - シート3は集計作業用シートで、シート4の作成に必要なデータを集計するために、自由に利用する。
 - シート4は、次のように作成する。
 - 「1. 入園料金表」は、資料4の「入園料金表」のデータを入力する。
 - 「2. 昨年の収支計算表」は、次のように作成する。
 - C11～D12の「子供人数」「大人人数」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
 - E11～E12の「人数合計」は、「料金区分」ごとに人数合計を求める。
 - F11～F12の「料金合計」は、「子供人数」「大人人数」ごとに「1. 入園料金表」の「料金区分」に応じた入園料金を掛けて合計を求める。
 - G11～G12の「営業費用」は、資料5のデータを入力する。
 - H11～H12の「営業利益」は、「料金合計 - 営業費用」の式を入力する。
 - 13行目の「合計」は、11～12行目の合計を求める。
 - 「3. 予想入園者増加率表」は、資料6のデータを半角英数字で入力する。ただし、%表示で整数部のみ表示する。
 - 「4. 今年の収支計算表」は、次のように作成する。
 - C20～D21の「子供人数」「大人人数」は、「2. 昨年の収支計算表」に「3. 予想入園者増加率表」の予想入園者増加率を掛けて求める。ただし、整数未満を四捨五入する。
C20の設定例 $\text{ROUND}(C11 * (1 + C16), 0)$
 - E20～E21の「人数合計」、F20～F21の「料金合計」、H20～H21の「営業利益」は、「2. 昨年の収支計算表」と同様に求める。
 - 22行目の「合計」は、20～21行目の合計を求める。
 - C24は、20%を半角英数字で入力しておく。ただし、%表示で整数部のみ表示する。
 - G20の「営業費用」は、H20の「営業利益」がH11の「営業利益」にC24の増加分を加えた値以上で、最大になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル：G20 目標値：最大値 変化させるセル：G20
制約条件：G20は整数、H20はH11の $(1 + C24)$ 倍以上
- G21はG20と同様に求める。
- C25は、「2. 昨年の収支計算表」の「営業費用」の「合計」から、「4. 今年の収支計算表」の「営業費用」の「合計」を引いて求める。
- (5) グラフは、「2. 昨年の収支計算表」と「4. 今年の収支計算表」から作成する。
- グラフの※※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
 - グラフの数値軸目盛は、最小値（0%）、最大値（100%）および間隔（10%）を設定する。
- (6) シート4を報告書として、1ページにおさまるように調整する。

	A	B
1		
2	入園者表	
3	入園者コード	入園者
4	C	※
5	A	※
6		
7	料金区分表	
8	料金コード	料金区分
9	H	※
10	W	※

(シート1)

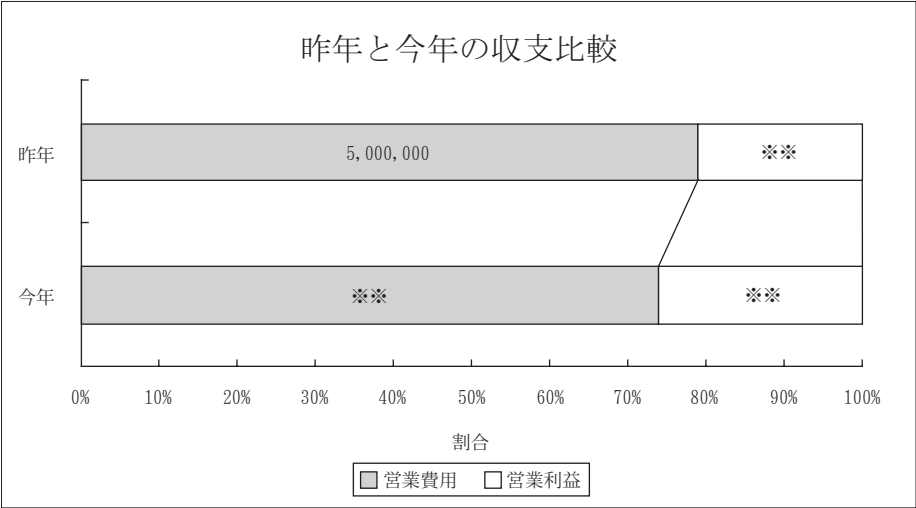
	A	B	C	D	E
1					
2	入園表				
3	入園コード	月	入園者	料金区分	人数
4	0101CH	01	子供	休日	662
5	0101AH	※※	※※	※※	414
6	0102CH	※※	※※	※※	686
7	?	?	?	?	?
730	1230CW	※※	※※	※※	745
731	1230AW	※※	※※	※※	466
732	1231CW	※※	※※	※※	537
733	1231AW	※※	※※	※※	335

(シート2)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2	合計 / 人数		月												
3	料金区分	入園者	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	総計
4	休日	子供	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	8086	※※	※※	※※
5		大人	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	5729	※※	※※	※※
6	休日 集計		※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
7	平日	子供	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
8		大人	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
9	平日 集計		※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※
10	総計		※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	※※	438205

(シート3の利用例)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5	1. 入園料金表							
6		料金区分	子供	大人				
7		休日	200	300				
8		平日	※	※				
9	2. 昨年の収支計算表							
10		料金区分	子供人数	大人人数	人数合計	料金合計	営業費用	営業利益
11		休日	8,086	5,729	※※	3,335,900	2,600,000	※※
12		平日	※※	※※	※※	※※	※	※※
13		合計	※※	※※	※※	※※	※※	※※
14								
15	3. 予想入園者増加率表							
16		休日	2%	平日	※			
17								
18	4. 今年の収支計算表							
19		料金区分	子供人数	大人人数	人数合計	料金合計	営業費用	営業利益
20		休日	8,248	※※	※※	※※	※※	※※
21		平日	※※	8,858	※※	3,189,300	※※	※※
22		合計	※※	※※	※※	※※	※※	※※
23								
24	営業利益を	※	増加させるためには、					
25	営業費用を	※※	円以上減少させる必要がある。					
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								



(シート4)

得 点 合 計

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成22年度（第43回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技
審査基準

A	B	C	D	E	F	G	H	
1								
2	2010年10月の収支計画表							
3								
4	1. 入園料金表							
5	料金区分		子供	大人				
6	休日		200	300				
7	平日		100	200				
8								
9	2. 昨年の収支計算表							
10	料金区分		子供人数	大人人数	人数合計	料金合計	営業費用	営業利益
11	休日		8,086	5,729	13,815	3,335,900	2,600,000	735,900
12	平日		13,764	8,600	22,364	3,096,400	2,400,000	696,400
13	合計		21,850	14,329	36,179	6,432,300	5,000,000	1,432,300
14								
15	3. 予想入園者増加率表							
16	休日		2%	平日	3%			
17								
18	4. 今年の収支計算表							
19	料金区分		子供人数	大人人数	人数合計	料金合計	営業費用	営業利益
20	休日		8,248	5,844	14,092	3,402,800	2,519,720	883,080
21	平日		14,177	8,858	23,035	3,189,300	2,353,620	835,680
22	合計		22,425	14,702	37,127	6,592,100	4,873,340	1,718,760
23								
24	営業利益を		20%	増加させるためには、				
25	営業費用を		126,660	円以上減少させる必要がある。				
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								

昨年と今年の収支比較

注1 昨年

注2

注3

注4

注5 割合

注6

営業費用

営業利益

配点

- ①表の作成（ ）の箇所） 5点×12箇所＝60点
- 注 罫線は含まない。数値は、3けたごとにコンマをつけていること。
- ②罫線 4. 今年の収支計算表 5点× 1箇所＝ 5点
- ③グラフの作成（ ）の箇所） 5点× 7箇所＝35点
- 注1 項目軸ラベルは、順序（昨年在上,今年在下）、方向、文字が正しく設定されていること。
- 注2 種類は、100%積み上げ横棒グラフで、値がコンマつきで正しく表示され、左右の重ね順が正しく設定されていること（上下の位置は問わない）。
- 注3 区分線が表示されていること。
- 注4 数値軸目盛は、最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(10%)が正しく設定されていること。
- 注5 数値軸ラベルは、方向、文字および位置（グラフの下側）が正しく設定されていること。
- 注6 凡例は、位置（グラフの下側）、順序、文字が正しく設定されていること。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。